



院内感染対策ニュース

平成30年1月17日 第53号
院内感染対策委員会

身近でよく聞く？緑膿菌とは？

新しい年になりました。今年もICT部会及び院内感染対策委員会活動にご協力
よろしくお願いします。

さて、今年最初の話題は「**身近でよく聞く？緑膿菌**」です。11月は緑膿菌の検
出が少し多くなりました。私たちの身近な場所に生息している緑膿菌。易感染患
者さんにとって時に日和見感染を起こすこの細菌についてお話しします。

緑膿菌とは？

自然界に広く存在するグラム陰性桿菌。
日和見感染症として重要。免疫機能が
低下した患者では**日和見感染**を起こす。



★**日和見感染**～感染力が弱い病原体（日和見病原体）
が感染に対して抵抗力が低下している人（易感染患
者）に感染および感染症を起こすことを言います。

どんなところに生息しているの？

緑膿菌は湿った環境が大好きで乾燥には弱い菌です。
洗面所や蛇口周辺、浴室、トイレなどに生息して
います。

緑膿菌の特徴

緑膿菌は**緑色のコロニー**で独特な臭気を持ってい
ます。水回りの湿潤環境を好みます。**バイオフィ
ルム**という粘液質を形成します。

★**バイオフィルム**～菌体などの膜を形成しこの膜
の中で細菌は外部環境のストレスから逃れて生息
できます。膜の中で守られているためなかなか薬
剤が効きません。



水回りには
緑膿菌が
いるよ



感染経路・対策

水回り周辺に緑膿菌は生息しています。水や人の手を
介して感染が広がります。

感染対策の基本は**標準予防策+接触感染対策**です。
例えば**尿**から緑膿菌が検出している場合、蓄尿してい
るとウロガードをはじめその周囲はかなりの確率で汚
染しています。尿を破棄した際に使用した物品は原則
ベッドパンウォッシャーによる熱水洗浄が望ましい。

感染対策としては**水回りの清掃、乾燥**を維持する。
また、手を介して感染が拡大するので**手指衛生の徹底、
体液を取り扱う場合は个人防护用具の使用**を徹底しま
しょう。アルコール消毒薬は効果があります。
易感染状態の患者さんは自分の身を守るために手指衛
生とマスク着用による対策も必要です。
医療従事者も患者さんにうつす事がないように標準予
防策+接触感染対策を実施して下さい。

緑膿菌感染症

緑膿菌は通常は弱毒菌で
健常人の腸管に存在して
います。しかし、免疫不全
や免疫機能低下患者では他
の感染症に対する抗菌薬の
投与により菌交代現象を起
こし体内で緑膿菌が増殖、各臓器を障害し呼吸器
感染症や敗血症を引き起こします。



緑膿菌の耐性化

緑膿菌は本来は病原性を発揮することがほぼない
弱毒菌ですが、抗菌薬の使用により薬剤の効かない
耐性菌へ変化することがあります。複数の薬材
が効かない緑膿菌を「**多剤耐性緑膿菌MDRP**」と
言います。多剤耐性だからといって感染力が強い
ということではなく、「効果のある
抗菌薬に限られるため治療に
難渋する」ことからMDRPに
警戒が必要です。



2018年もタイムリーな話題に向き合い皆さんに情報提供できるようにします。よろしくお願いします。